

☆☆☆シリーズ「うきはブランド推進隊の活動紹介」☆☆☆ 地域外の人材を招致して地域力を高める「地域おこし協力隊」の制度。「うきはブランド推進隊」として、現在9人がミッションに取り組んでいます。

うきは地域総合商社DMO推進プランナー  
山下 紗代子

DMO推進プランナーとしてウキハコを担当しています。8月に実施した「めだかはくらんかい&モクイクヒロバ」藤波ダムの社会科見学会」を皮切りに、ウキハコ主催イベントを毎月開催中。1月は19日(土)に「うきチャリ古墳ツアー」、26日(土)に「ハウスでイチゴ狩り」して：スイーツを作ろう」を開催。2月以降のイベントも詳細が決まり次第、ウキハコホームページ (<http://ukiha.co.jp>) に掲載予定。



1月26日(土)「ハウスでイチゴ狩りして：スイーツを作ろう」(大人2,500円)の会場は、うきは市の果物農園「梶原フルーツ」。7つの品種が楽しめるいちごハウスで40分いちごの食べ比べができます。最後にスイーツ用の好きないちごを採ってミニスイーツを作ります。ミニスイーツ用のデコレーション食材をご提供頂くのは、うきは市の洋菓子店「ブラウンシュガー」手島さん。うきはにとことんこだわったイベントです。これからもうきはの魅力をどんどん発信していけるよう頑張ります。

シティプロモーション推進プランナー  
西本 裕貴

うきは市外の方にうきはの魅力を知ってもらうために日々活動しております。10月には東京のアンテナショップで二日間に渡り「うきはフェア」柿の開園式」を開催しました。期間中には大勢のお客さんにお越しいただき、うきはの商品が当たる抽選会と合わせて大盛況でした。

東京近郊に住む方々には、なじみの薄い福岡県うきは市という街を知っていただき、美味しいフルーツの街というイメージを覚えていただく良い機会になったと思います。

また、うきは市のキャラクター「うきぴー」の効果も感じられました。SNSを通じて県外にもファンが増え、うきぴーの街だからということ、アンテナショップに来店される方も多くなりました。うきぴーのファンから、うきは市のファンになる人が増えるように、うきぴーと共にうきは市のプロモーション活動を頑張っていきたいと思っております。



## 癒しの旅先案内人による 森林セラピー紹介

私が森林セラピーのガイドに興味を持ったのは、姫治小学校で用務員を務めていた頃、児童たちが地域学習の一環で森林セラピーの事を学んでおり、付き添いでセラピーに参加させていただいてからです。その時は米川会長直々にガイドくださり、ユーモアを交えた楽しいお話と共にゆったりと棚田やセラピーロードを散策しました。車でつづら棚田に行ったことしかなかった私には、とても楽しく新しい発見がたくさんで、なおかつ健康にも良いという素晴らしい体験でした。

元々、うきはの自然と人の営みが織りなす里山の風景に引かれて関東より移住して来たこともあり、余計なモノが何もない里山で過ごす感動を、多くの方に味わっていただきたいと思っていました。譲っていただいた茅葺の古民家の自宅を改装してカフェにし、宿泊してゆったりと楽しんでいただけるように民泊の申請を行ったりと、バタバタと事業の組立てを行って参りました。地域の方々のご理解とご協力を賜り、おかげさまで多少めどが付いてまいりましたので、なかなか受けられなかったガイドの講習を昨年度やっと受講することができ、無事ガイドの資格をいただきました。来年度からはセラピーの活動にもっと参加できるよう頑張りたいと思います。



癒しの旅先案内人 林 和弘